

令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	魚のすみやすい川づくり勉強会	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

本事業は、行政機関や学術・民間の有識者の講演等により、北陸地域における河川整備を企画、立案、工事する際に、払うべき魚類等の生態系に対する適正な配慮について考える機会を提供することを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催: NPO法人水環境技術研究会
協 賛: (一社)北陸地域づくり協会
後 援: 国土交通省信濃川河川事務所、新潟県、魚沼漁業協同組合

3. 事業概要

日 時: 令和7年11月10日(月) 13:15～16:15
場 所: 魚沼市小出ボランティアセンター(オンライン併催)

プログラム:

- ①「気候変動下において多様な生態系を守る川づくり
-河川環境保全と技術活用取組-」

土屋 修一(国土交通省信濃川河川事務所長)

- ②「サクラマス資源に及ぼす河川環境の影響」
米山 洋一(新潟県内水面水産試験場 専門研究員)

- ③「新潟県の河川における今夏の渇水状況」
赤塚 勤丞(新潟県土木部河川管理課 副参事)

総合討論

進行: 小野 直哉(新潟県魚沼地域振興局地域整備部 参事・治水課長)

参加者: 204名(会場60、オンライン144)

4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

本事業は、国土交通省北陸地方整備局の河川協力団体として水環境技術研究会が行っているもので、今回で15回目を数え、県内各地において実施されている河川環境の改善・保全の取り組みについて、最新の知見が示された。
今回は、2025年度の渇水状況について各河川の流況やダム貯水率の変化から振り返るとともに、気象変動が河川環境に与える影響について渇水の傾向や水温上昇の具体的事例等から今後の取り組みの方向性について議論した。
今後の異常気象等でサクラマスをはじめ魚類の生息環境が厳しくなることが予想される中、河川環境保全の取り組みが必要であること、そして関係機関での日頃の意見交換を継続していくことの重要性が強調された。



← 講演①
← 講演②



総合討論



会場 小出ボランティアセンター